

2024年 プログラム近況報告書 バングラデシュ ビロル地域開発プログラム

温かいご支援をありがとうございます



ビロル地域の子どもたちへのご支援をありがとうございます。皆さまのご支援により、地域の最も弱い立場にある子どもたちとその家族の生活が改善されています。

Acosta

スジット・コスタ

ビロル 地域開発プログラムマネージャー

ご支援によって、チャイルドや地域の人々に

100

地域住民と子どもたち100人が、災害のリスクを軽減し、災害が発生した場合の対処方法について研修を受けました。災害が起きたときに、子どもたちや家族の安全を守ることにつながります。

746

746人の保護者・養育者が子育て研修に参加しました。子どもたちにとって安全で愛情と思いやりのある家庭とは何かを学び、その実践に向けて取り組んでいます。

バングラデシュ : 日本 出典: 国連開発計画 (UNDP)、国連児童基金 (ユニセフ)、世界銀行 2022年

5歳未満児死亡数
 (出生1,000人あたり)



27.3

2.3

安全な水にアクセス
 できる割合



59%

99%

前期中等教育を修了
 した25歳以上の女性



41.1%

98.2%

皆さまのご支援によって、人々は空腹を満たし、安全な水を得て、子どもたちに教育を受けさせることができます。ワールド・ビジョンでは、人々が貧困の連鎖から抜け出すための、様々な取り組みを行っています。



「以前、ぼくたち家族は生活していくのがやっとでした。母がワールド・ビジョンの支援でアヒルの飼育を始めてからは、卵を売って収入を得られるようになったので、今では食べ物を買ったり、ぼくの学費を支払うことができます」

ムンナくん、13歳（右）

大きな変化がもたらされています

750

3～6歳までの子どもたち750人が就学前教育を受けるようになりました。小学校入学後、学びを続ける基礎を築いています。

250

地域で農業を営む250人が種子、家畜、道具、農機具などの支援を受けました。収穫量を向上させ、家計の収入を増やすことで、子どもたちの生活を支えられるようになりました。

2007

開始

準備期

地域との関係構築やニーズ調査、計画策定をします

第1期

土台やしくみを作ります

第2期

知識・技術を身につける活動を行います

第3期

評価・見直しをしつつ活動を進めます

2024

支援卒業準備期
支援の終了を意識し、活動が持続できるように整えていきます

2026

終了予定

支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

「収入があるので、学費を払うことができます」



「両親の収入は、とても少なかったです」そう話すのは、16歳のラニ・リミちゃんです。「家計が苦しくて、生活に必要な物を買うことも、私の学費を払うことも難しい状況でした」

貧困によって厳しい生活を送っていたラニ・リミちゃん一家でしたが、ラニ・リミちゃんがワールド・ビジョンの研修に参加し、堆肥の作り方を学んだことで状況は一変します。少量の生産から始めた堆肥作りはすぐに軌道に乗り、家族と一緒に小規模のビジネスを始められるまでになったのです。

「今では、月に200キロ以上の堆肥を生産しているんです」と笑顔で話すラニ・リミちゃん。「堆肥は自分たちの畑でも使っていて、余った分を売っています。こうして得た収入で、学費を支払えるようになったので、これからはもっと生産量を増やしていくつもりです。近所の人たちにも堆肥の作り方を伝えて、化学肥料を使わない安全な野菜の栽培を勧めています」



QRコードから、「マイ ワールド・ビジョン」にご登録いただくと、チャイルドと支援地域の情報をご覧いただけます

パソコンからは、トップページの「支援者の皆さまへ」に進み、「アカウントの作成」ボタンからもお手続きいただけます



ご支援により、子どもたちを
取り巻く環境が改善されています

バングラデシュ ビロル地域開発プログラム (BGD-186137)

2023年度 (2022年10月1日～2023年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	73,579,805
前期からの繰越額	472,476
プログラム支援額合計	74,052,281
プログラム支出額	
生計向上プロジェクト	30,651,170
教育・子どもの保護プロジェクト	22,459,388
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	19,853,992
プログラム支出額合計	72,964,550
次期繰越額	1,087,731

活動内容

生計向上プロジェクト

- 最貧困層を対象とした乳牛、ヤギ、アヒルの飼育における知識と技術の向上支援
- 未使用の土地活用と収入源を増やすための家庭菜園作り
- 気候変動に対応した農業技術支援

教育・子どもの保護プロジェクト

- 地域の学習センターの設立、学用品の提供
- 保護者を対象とした子どもの保護、子どもとの接し方、栄養、保健衛生に関する啓発セッション
- 識字教室

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動

お問い合わせ
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL : 03-5334-5351

Eメール : dservice@worldvision.or.jp
ホームページ : www.worldvision.jp